

## 「ワークポート新潟」を開設しました

新潟県知事 泉田 裕彦



新潟県は、国・新潟市と協力し、「就労支援と生活支援」の相談や申請を一か所で受けていただくことができる体制をつくり、平成 25 年 1 月 15 日に新潟市の東区役所内に「ワークポート新潟」を開設しました。

これまでは、求職活動の相談窓口は国の機関であるハローワーク、職業訓練を行うテクノスクールの窓口は新潟県、生活困窮者等への福祉サービスの提供は新潟市の区役所がそれぞれ事務を担当していました。これらの機能を一か所に集約し、窓口を1つにしたのが「ワークポート新潟」です。

この事業は、新潟県と新潟市の二重行政解消などを目指す新潟州構想の検討の中から、県と市が共同で国に事業提案するに至ったものです。

事業の提案にあたっては、利用者がより円滑にサービスを受けるにはどうしたらよいか、サービスの供給者側の理屈ではなく、社会のニーズや生活者の利便性を考慮するという視点に立って考えました。

職に就きたいと思って職を探してもなかなか難しい現実があります。

就職活動を有利にするために資格を取りたい、その間の生活はどうしたら良いだろうなど多岐にわたり思いを巡らしたり、悩まれることがあると思います。

「ワークポート新潟」に来ていただければ悩みを一度に相談でき、また、お一人お一人の事情に応じたきめ細かいサービスを受けることができます。

また、国・県・市の3者が連携した取組は全国初の試みです。

この事業が、国・県・市の連携という新たな枠組みと、生活者視点からの事業構築という観点で、広く「模範」となってくれればと思います。

「ワークポート新潟」が「住民に身近な行政機関」として多くの皆様にご利用いただき、「身近なところで大変便利になった」、「いろんな相談に乗ってもらってありがたい」などのお声をたくさんいただけるようになることを期待しています。

県といたしましても、今後とも国・市と十分連携しながら、利用者の立場に立った取組を進めて参ります。